

琉球大学学術リポジトリ

広島地区の取り組みと共同リポジトリプロジェクト

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 琉球大学附属図書館 公開日: 2009-02-09 キーワード (Ja): 地域共同リポジトリ, 広島大学, 広島県大学共同リポジトリ キーワード (En): HARP, ShaRe 作成者: 尾崎, 文代 (広島大学図書館) , Ozaki, Fumiyo メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/8888

広島地区的取り組みと 共同リポジトリプロジェクト

広島大学図書館
尾崎 文代

fozaki@hiroshima-u.ac.jp

2009.2.6 沖縄地域学リポジトリ試験公開講演会



本日の話題

- 機関リポジトリ
 - Institutional Repository
- 共同リポジトリ
 - ShaReプロジェクト
- 広島県大学共同リポジトリ
 - HARP

広島大学（自己紹介その1）



学生数 16,000人
教職員数 3,200人
学部数 11 大学院数 12
キャンパス総面積 315ha

図書館: 3キャンパスに5つ
蔵書数 332万冊
職員数 50名



企画調整(兼)学術情報リポジトリ主担当 (自己紹介その2)

2005年	CSI委託事業受託(以降現在まで) ワーキンググループで公開準備
2006年	広島大学学術情報リポジトリ(HiR)公開 主担当設置(2名) CSI委託事業の中で共同リポジトリ構想
2008年	企画調整主担当(主として中国四国地区 協議会事務)と兼務

<http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/>



機関リポジトリ

機関リポジトリとは Institutional Repository

大学等の学術機関内で生産された、さまざまな学術情報を収集、蓄積、配信することを目的とした、インターネット上のサーバ

クロウ(RaymCrow)

「単独あるいは複数の大学コミュニティの知的生産物を捕捉し、保存するデジタル・コレクション」生産者は学術機関の構成員。コンテンツは学術的価値を有するもの。累積的かつ恒久的に維持し、相互運用性とオープン・アクセスの保証

Crow, Raym. The Case for Institutional Repositories: A SPARC Position Paper. 2002. (online), available from <http://www.arl.org/sparc/IR/ir.html>

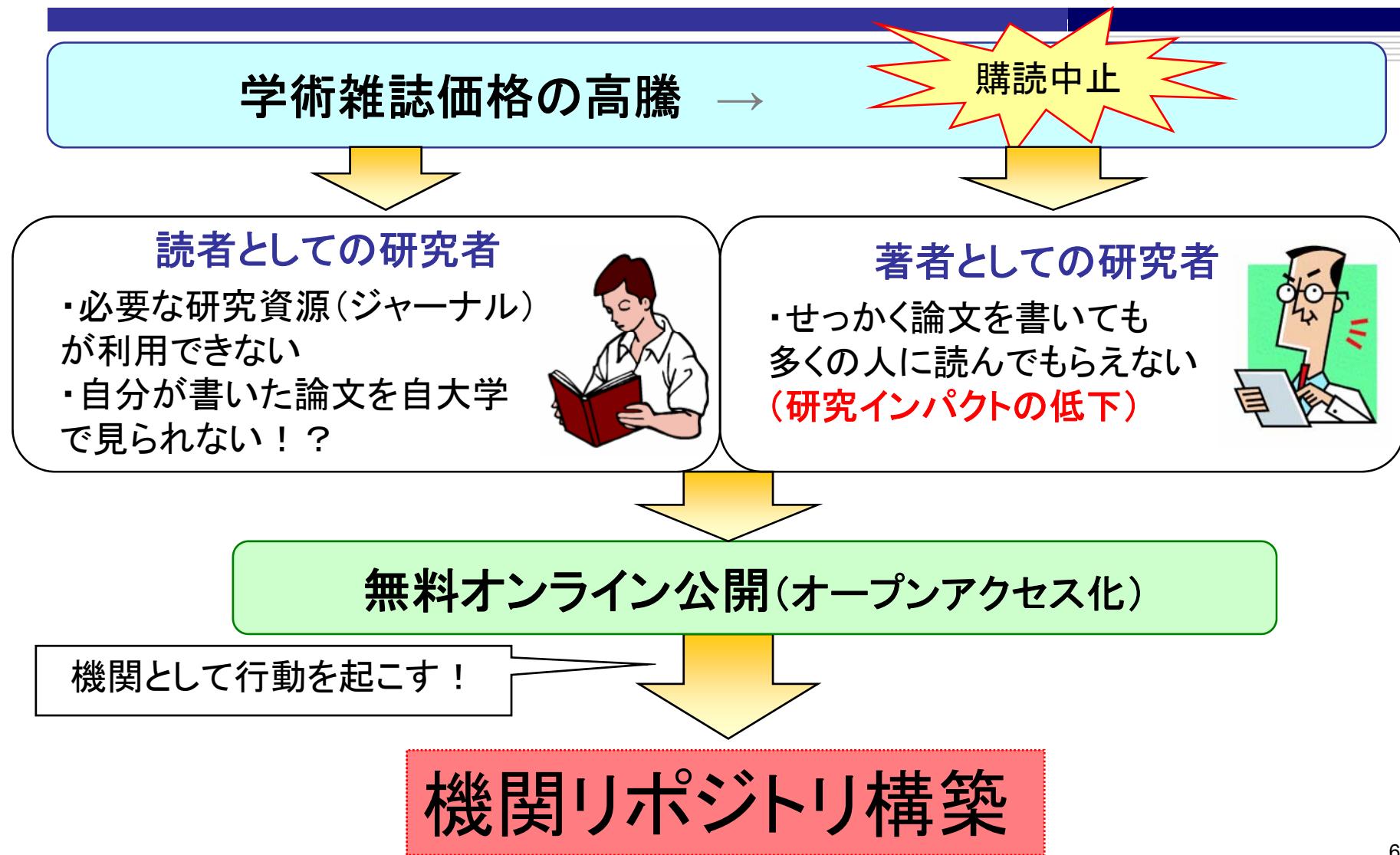
(栗山正光訳). 機関リポジトリ擁護論. (オンライン) <http://www.tokiwa.ac.jp/~mtkuri/translations/case_for_ir_jptr.html>

リンチ(Clifford A. Lynch)

「大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービス」

Lynch, Clifford. Institutional Repositories: Essential Infrastructure for Scholarship in the Digital Age. *ARL Bimonthly Report*, No. 226, February 2003. <<http://www.arl.org/newsltr/226/ir.html>>.

そもそもの背景 -学術コミュニケーションの危機-



つまり機関リポジトリとは

- 自機関の教育研究成果を電子的に収集・蓄積・保存し
- 本文を
 - 書誌情報にあらず
- 無償で
 - 利用に課金しない
- 世界へ発信する
 - 限られた範囲だけにあらず
- 機関の



ねらい



著者的

- オープンアクセス(無料公開)による読者獲得
- 研究成果の可視性(visibility)向上 & 流通拡大

機関的

- 機関の研究活動成果の固定と保存
- 研究機関としての知名度向上

社会的

- 教育・研究活動に係る社会への説明責任の履行

通常のウェブ公開との違い

- OAI-PMHに準拠したメタデータを付することで各種のエンジンから検索できるようになる
→入口が広がる
 - **JAIRO**(Japanese Institutional Repository Online)
国立情報学研究所 <http://jairo.nii.ac.jp/>
 - OAster(ミシガン大学) <http://www.oaister.org/>
 - **CiNii**(NII論文情報ナビゲータ) <http://ci.nii.ac.jp/>
 - Google, Google Scholar, Scirus, リンクリゾルバのターゲット
- システムやコンテンツの拡張性が期待できる
 - 様々なコンテンツが同じシステムで管理・サービスできる
 - 電子出版(生産プロセスの電子化)の可能性

□ 27. [110004854497] 吉田, 裕久

沖縄・八重山における戦後初期国語教科書の研究

広島大学大学院教育学研究科紀要. 第二部, 文化教育開発関連領域 52,63

■ 収録データベース: NDL NII-ELS IR

■ 本文:  





□ 28. [110004677767] 一ノ瀬, 孝恵; 日浦, 美智代

中学校選択教科「家庭」の教材開発(2) : 日本そばと沖縄そば

研究紀要 50,37-44,20040301(ISSN 13444441) (広島大学)

■ 収録データベース: NII-ELS IR

■ 本文:  



中学校選択教科「家庭」の教材開発(2) : 日本そばと沖縄そば

中学校選択教科「家庭」の教材開発(2) : 日本そばと沖縄そば : Development of Teaching

Materials of Selectable Home Economics in Junior High School(2) : The Buckwheat
Noodles(Soba) and the Okinawa Noodles ...

ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00017718 - 10k - キャッシュ - 関連ページ

[広島大学 学術情報リポジトリ](#)

中学校選択教科「家庭」の教材開発(2) : 日本そばと沖縄そば / 一ノ瀬, 孝恵 / 日浦, 美智代

中学校選択教科「家庭」では、昨年度から「植物に親しむ... [詳細]; 反射・屈折の法則を含
む数学的扱い」について : フェルマーの原理に基づく ...

ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/meta-bin/mt-pmtlist.cgi?smode=1&tlang=0&pagecnt=1&A11466015 - 19k - キャッシュ - 関連ページ

[ir.lib.hiroshima-u.ac.jp からの検索結果 >](#)

 日本

このアイテムのアクセス数: 0 回 (2009/01/30)



Permalink <http://jairo.nii.ac.jp/0020/00009692>

中学校選択教科「家庭」の教材開発(2)：日本そばと沖縄そば

Development of Teaching Materials of Selectable Home Economics in Junior High School(2) : The Buckwheat Noodles(Soba) and the Okinawa Noodles

一ノ瀬 孝恵, 日浦 美智代, イチノセ タカエ, ヒウラ ミチヨ, Ichinose, Takae, Hiura, Michiyo

この情報は広島大学の

No Image

広島大学学術情報リポジトリ
によって作成されています。

書き出し:

[Refer/BibTeX形式](#)

[BibTeX形式](#)

[TSV形式](#)

収録誌

研究紀要/広島大学附属中・高等学校

(50), pp.37 - 44, 20040301, 広島大学附属中・高等学校, 国立情報

ISSN1344-4441

NIID書誌ID(NCID):AA11466015

JAIRO
Japanese Institutional Repositories Online

本文を読む/探す

No Image <http://id.nii.ac.jp/0020/00009692>

[Webcat Plus](#) 図書館所蔵

内容記述

中学校選択教科「家庭」では、昨年度から「植物に親しむ」ことをテーマに「梅シロップ作り」「ハーブの栽培」「染色」「そば作り」「みそ作り」の授業を展開し、それらの中から「そば作り」に関する教材開発を図った。ゲストティーチャーの大久保氏から教わった30分でできるそば打ちの授業で、生徒はそばについて興味を持ち、家庭で積極的にそば打ちを行うようになった。今年度は、生徒に家庭で気軽に実践できるそば打ちを体験させながら、そばアレルギーの生徒に対応すべく新たなメニューの開発を試みたので報告する。

機関リポジトリと著作権



リポジトリに登録すること
||

リポジトリをプラットフォームにして
著作権(複製権・公衆送信権)を行使すること

コンテンツの著作権者が誰なのか？

コンテンツの著作権者

機関(著作権譲渡契約 等)

→ リポジトリ登録(セルフアーカイブ)の権利を残す・あるいは許諾している場合が多い。(海外で91%)

著者 → 著者の判断で登録可。

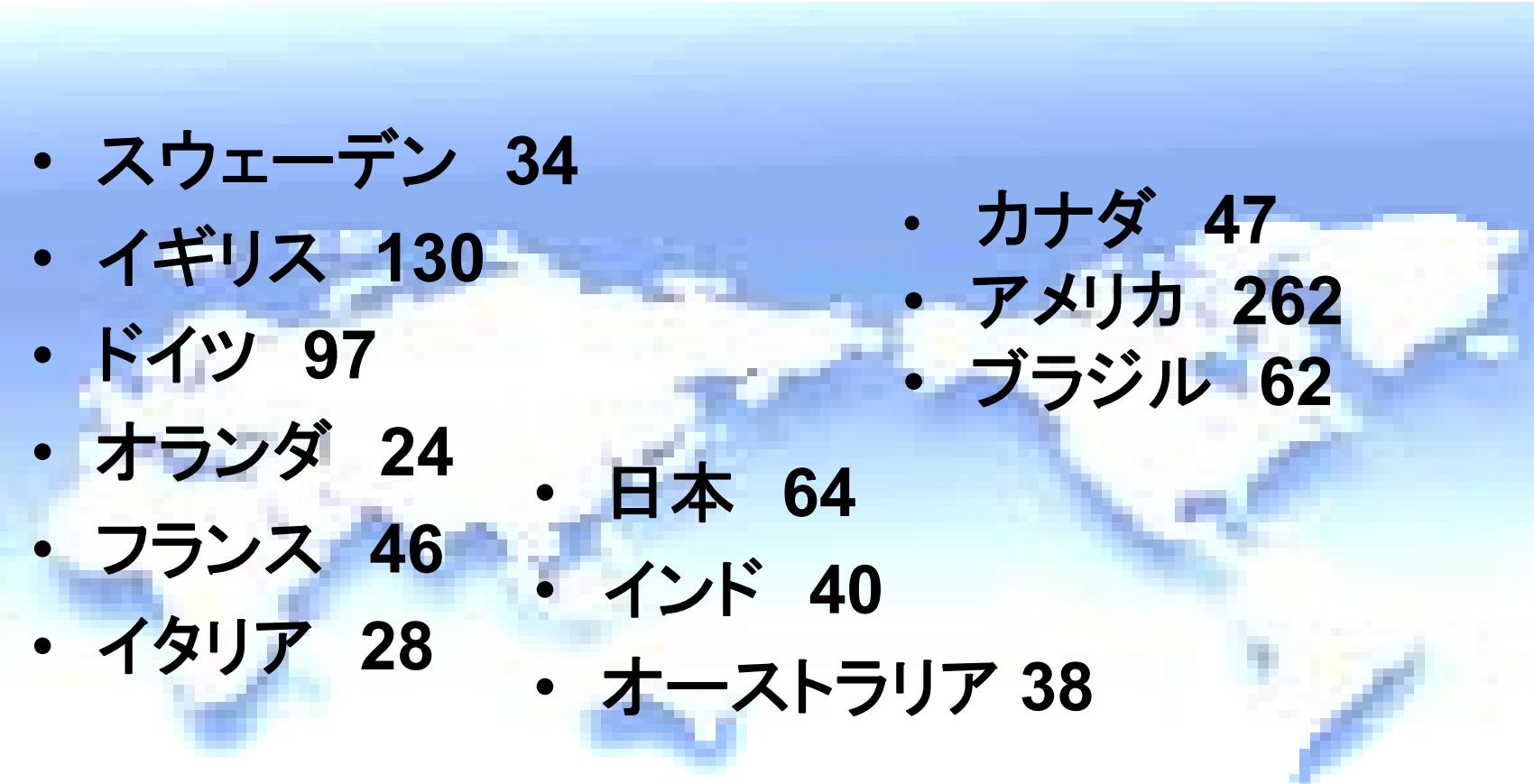
機関の著作物を公開する場合

→著作権の在所を明確にする
→機関に譲渡するか、著者に残して電子公開の許諾を機関に与えるか

SHERPA/ROMEO <http://romeo.eprints.org/stats.php>

SCPJ <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/scpj/>

世界のリポジトリ

- 
- ・ スウェーデン 34
 - ・ イギリス 130
 - ・ ドイツ 97
 - ・ オランダ 24
 - ・ フランス 46
 - ・ イタリア 28
 - ・ カナダ 47
 - ・ アメリカ 262
 - ・ ブラジル 62
 - ・ 日本 64
 - ・ インド 40
 - ・ オーストラリア 38

計 1,243 (2009.1現在)

<http://roar.eprints.org/>

日本のリポジトリ

2009年現在、**90**のリポジトリが運用中。

- 北海道大学(HUSCAP) 千葉大学(CURATOR) ほか
<http://www.nii.ac.jp/irp/list/>
- 機関の数は110 →共同リポジトリ
コンテンツ数 569,004件
<http://irdb.nii.ac.jp/>

機関リポジトリ構築支援事業

(国立情報学研究所)

平成16年度

学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト

平成17年度～

CSI(最先端学術情報基盤)事業委託事業

<http://www.nii.ac.jp/irp/>

17年度(19大学)・18年度(57大学)・19年度(70大学)・20年度(68大学)

20年度採択プロジェクト

- ・発信力強化のための技術開発・複数のリポジトリの連携
- ・機関リポジトリの持続性の確保や価値の向上に関する研究
- ・eサイエンスと機関リポジトリの連携の可能性についての調査・研究



共同リポジトリ

複数機関による共同リポジトリ

複数機関で生産された教育研究成果等を
一つのサーバに蓄積・保存するリポジトリ



構築費用が抑えられる
技術・ノウハウを共有できる



中小規模機関IR導入の障壁を除去
オープンアクセスの裾野拡大

ある図書館員の悩み …どちらに進むべきか？…

効能：特になし

ぬるまゆ
温 泉

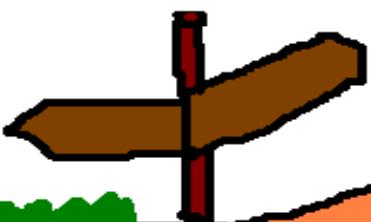


効能：社会的価値向上

スパ 次世代



リポジトリ味



第3の選択肢

効能：特になし

ぬるまゆ
温 泉



共同
フートキャンプ



共同新道

リポジトリ味

お悩み解決

効能：社会的価値向上

スパ 次世代



共同構築の意義

- ・ 経費・技術・ノウハウの共有
- ・ リポジトリ構築の障壁除去
→**オープンアクセスの拡大**

- ・ 連携の強化
- ・ サブジェクトポータル構築の可能性
→**地域の活性化・社会貢献**

サブジェクトリポジトリの例

- 教育系サブジェクトリポジトリ(東京学芸大学)
- 遺跡資料リポジトリ(中国地区)

共同リポジトリの例(イギリス)

- White Rose Research Online
 - リーズ・シェフィールド・ヨーク大学のコンソーシアムに成立
 - 三大学で一名雇用し、全ての業務を行っている。
 - <http://eprints.whiterose.ac.uk/>
- SHERPA-LEAP
 - ロンドンの学術成果のショウケースとなることを目的としてロンドン大学(UCL)のサーバに各機関のコピーを作成。
 - 2009年現在、13機関。
 - <http://www.sherpa-leap.ac.uk/>

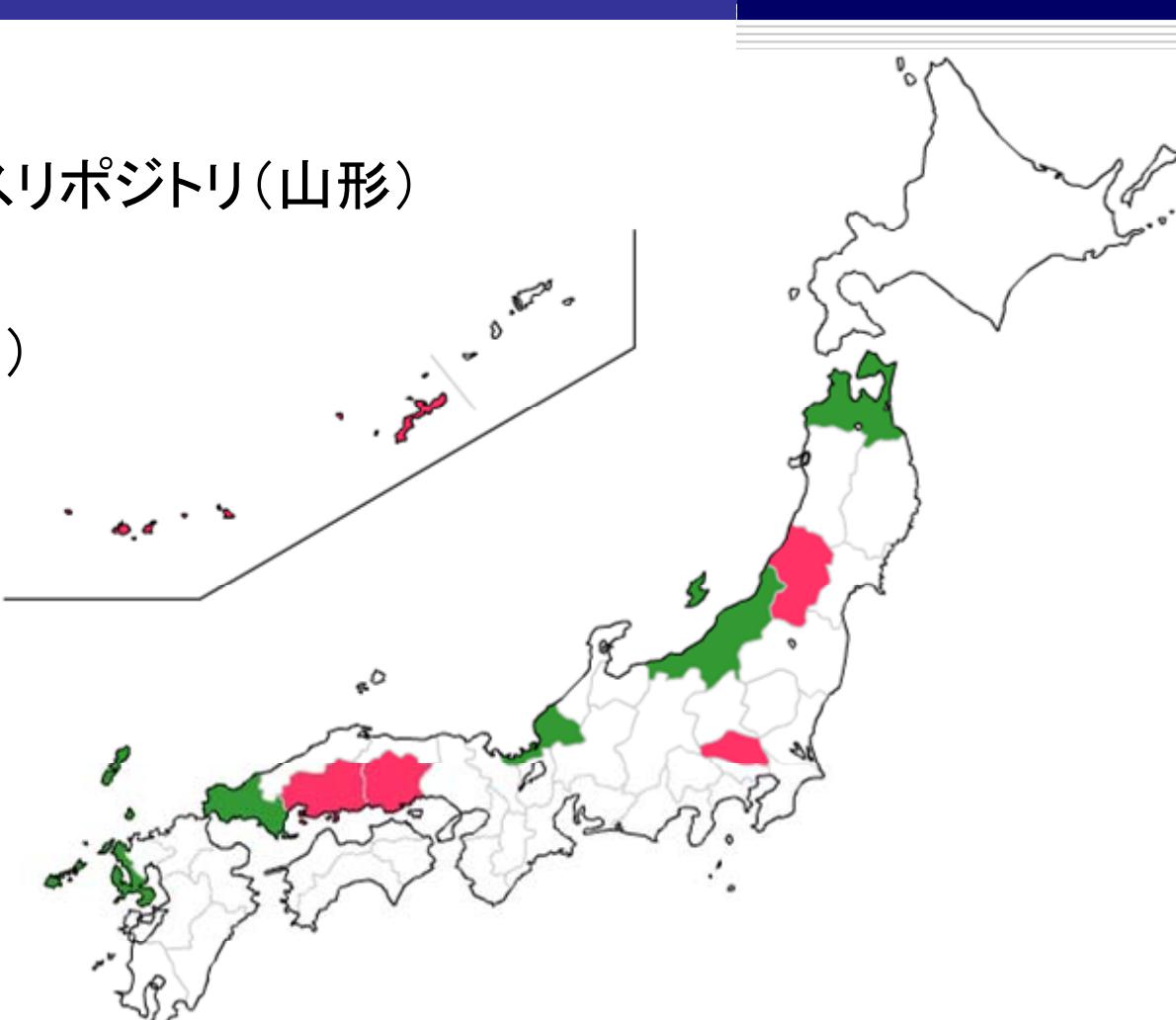
国内の地域共同リポジトリ

- **運用中**

- ゆうキャンパスリポジトリ(山形)
- HARP(広島)
- SUCRA(埼玉)
- O-AIR(岡山)
- 沖縄

- **準備(構想)中**

- 山口
- 長崎
- 新潟
- 福井
- 青森



運用中の共同リポジトリモデル

	リポジトリ名	基幹大学	システム	サーバ管理	コンテンツ登録・管理	著作権処理
一体型	ゆうキャンパス リポジトリ	山形大学	基幹大学 に同居	山形大学	山形大学	各機関
	SUCRA	埼玉大学		埼玉大学	各機関	各機関
独立型	HARP	広島大学	基幹大学 と別シス テム	広島大学	各機関	各機関
中間型	O-AIR	岡山大学	基幹大学 にコピー を作成	岡山大学	各機関	各機関

ShaReプロジェクト

- 国立情報学研究所(NII)のCSI委託事業(領域2)
 - NIIのスタンス: 機関リポジトリの更なる全国展開・裾野を広げるための方策として共同リポジトリを後押し。
- 共同リポジトリのシステムと運用モデルの改善・構築
- 担当者育成
- 全国への共同リポジトリ普及支援
- 連携大学
 - 広島大学(代表)・岡山大学・山形大学・埼玉大学
広島工業大学・長崎国際大学

<http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/share/share.html>



平成20年度 ShaReの活動

9月

- ・ 情報交換会(埼玉県大学・短期大学図書館協議会)

10月

- ・ ワークショップDRF/ShaRe-Hiroshima(広島大学図書館)

11月

- ・ 長崎地区システム構築支援・研修会(長崎県大学図書館協議会)
- ・ 研修会(新潟県大学図書館協議会)
- ・ SUCRA(埼玉)スタート

12月

- ・ ワークショップDRF/ShaRe-Yamagata(山形大学附属図書館)
- ・ O-AIR(岡山)スタート

2月

- ・ 沖縄地域学リポジトリ試験公開記念講演会(琉球大学附属図書館)

ml-share @ hiroshima-u.ac.jp (ShaReプロジェクト)

toshoseibi-repo @ office.hiroshima-u.ac.jp

(代表機関:広島大学)





広島県大学共同リポジトリ



HARP: Hiroshima Associated Repository Portal

- 2006～広島大学のCSI委託事業の中で実験
- 2008.4.30
 - 広島県内の11大学参加により正式スタート
 - 呉大・尾道大・広島国際大・広島国際学院大・広島女学院
大広島工業大・広島市立大・広島文教女子大・広島経済大
日本赤十字広島看護大・県立広島大
 - 今年度内に2大学追加参加予定。
- 運営:広島県大学図書館協議会(加盟館25)
広島大学は事務局として関わる
- 2008～CSI委託事業受託。
アルバイトを雇用し、11大学の登録作業を行う。



HARP

HARPIについて | 広島県大学図書館協議会

検索

- HARP
- 参加大学一覧

ブラウズ

- タイトル
- 著者
- 資料タイプ
- 日付

● ヘルプ

● 登録(管理者専用)

● パスワード変更

広島県大学共同リポジトリ

Hiroshima Associated Repository Portal



HARP >

HARP(Hiroshima Associated Repository Portal) : 広島県大学共同リポジトリは、広島県大学図書館協議会の運営する広島県内の公・私立大学等による共同リポジトリです。 参加大学の教育研究成果を蓄積・保存し、無償で発信する共同の電子書庫です。 [● 詳細](#)

参加大学

呉大学 = Kure University [41]
尾道大学 = Onomichi University [425]
広島国際大学 = Hiroshima International University [43]
広島国際学院大学 = Hiroshima Kokusai Gakuin University [77]
広島女学院大学 = Hiroshima Jogakuin University [43]
広島工業大学 = Hiroshima Institute of Technology [78]
広島市立大学 = Hiroshima City University [157]
広島文教女子大学 = Hiroshima Bunkyo Women's University [300]
広島経済大学 = Hiroshima University of Economics [784]
日本赤十字広島看護大学 = The Japanese Red Cross Hiroshima College of Nursing [103]
県立広島大学 = Prefectural University of Hiroshima [0]
HAUL 広島県大学図書館協議会 [1]

呉大学 KURE UNIVERSITY
Onomichi University [425]
尾道大学
HIU 広島国際大学
Hiroshima International Univ.
広島国際学院大学
広島女学院大学
HIROSHIMA JOGAKUIN UNIVERSITY
広島工業大学
広島市立大学
HIROSHIMA CITY UNIVERSITY
Hiroshima Bunkyo Women's University
広島文教女子大学
HUE 広島経済大学
The Japanese Red Cross Hiroshima College of Nursing
県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

- 国内の機関リポジトリ
- 海外の機関リポジトリ
- JAIRO : 学術機関リポジトリポータル

これまでの経緯

	内容	担当ほか
2006.10	<ul style="list-style-type: none"> ・実験プロジェクト立ち上げ。 広島大学のCSI委託事業(平和学リポジトリから広島県内共同構築の着想) ・第1回勉強会 	8大学11名
2006.12	実験サーバ立ち上げ(DSpace,XooNips)	広島工業大
2007.1	第2回勉強会	9大学13名
2007.3	本稼動用サーバ導入	広島大
2007.6	第3回勉強会	9大学15名
2007.7	18年度CSI委託事業報告会で発表	広島大
	19年度広島県大学図書館協議会総会で事業化承認・委員会設立	
	NII学術ポータル担当者研修受講	広島工業大・広島国際大 広島女学院大
	第1回県大図協共同リポジトリ委員会 19年度活動計画策定	広島経済大(委員長館) 広島市立大・広島工業大 広島国際大・広島女学院大・ 広島大

	内容	担当ほか
2007.9	県大図協第1回研修会(於:広島大学) 私立大学図書館協会西地区研究会で発表	広島大・広島工業大発表 18大学47名
		広島工業大
2007.10	県大図協加盟館に意向調査	13大学が参加の意向
2007.11	DRF地域ワークショップ岡山で発表	広島市立大
2007.12	第4回勉強会	13大学17名
2008.1	英国の共同リポジトリ調査 White Rose, SHERPA-LEAP	広島大
	DRF国際会議2008 ポスター参加	広島大・広島工大 広島経済大
2008.2	第2回県大図協共同リポジトリ委員会 20年度活動計画策定	広島経済大学ほか5大学
2008.3	20年度の参加募集	11大学が申請
	共同リポジトリ情報交換会(於:広島大学) (早稲田大・岡山大・長崎大・長崎国際大ほかHARP)	
2008.4	第5回勉強会	15大学25名
	正式公開 11大学	

	内容	担当ほか
2008.6	平成19年度CSI委託事業報告会	広島大学
	CSI委託事業領域1採択通知	
2008.7	平成20年度第1回共同リポジトリ委員会 第6回勉強会	12大学19名
	NII学術ポータル担当者研修受講	広島市立大学
2008.8	アルバイト研修	広島大学
	大学図書館問題研究会全国大会(西南学院大学)	広島経済大学
2008.9	公立大学図書館協議会研究会(広島市立大学)	広島市立大学
	埼玉県大学・短期大学図書館協議会(SALA)幹事会訪問 (女子栄養大学:坂戸市)	広島大学 広島市立大学
2008.10	第7回勉強会	11大学18名
	ワークショップDRF/ShaRe広島(広島大学)	日赤広島看護大学
2008.11	長崎県大学図書館協議会研修会	広島経済大学 広島工業大学
	新潟県大学図書館協議会研修会	広島大学
2008.12	ワークショップDRF/ShaRe山形(山形大学)	広島大学

共同運営のための要素

- ・ システム・ソフトウェア
- ・ 運営体制
- ・ 意識形成

システム・ソフトウェア

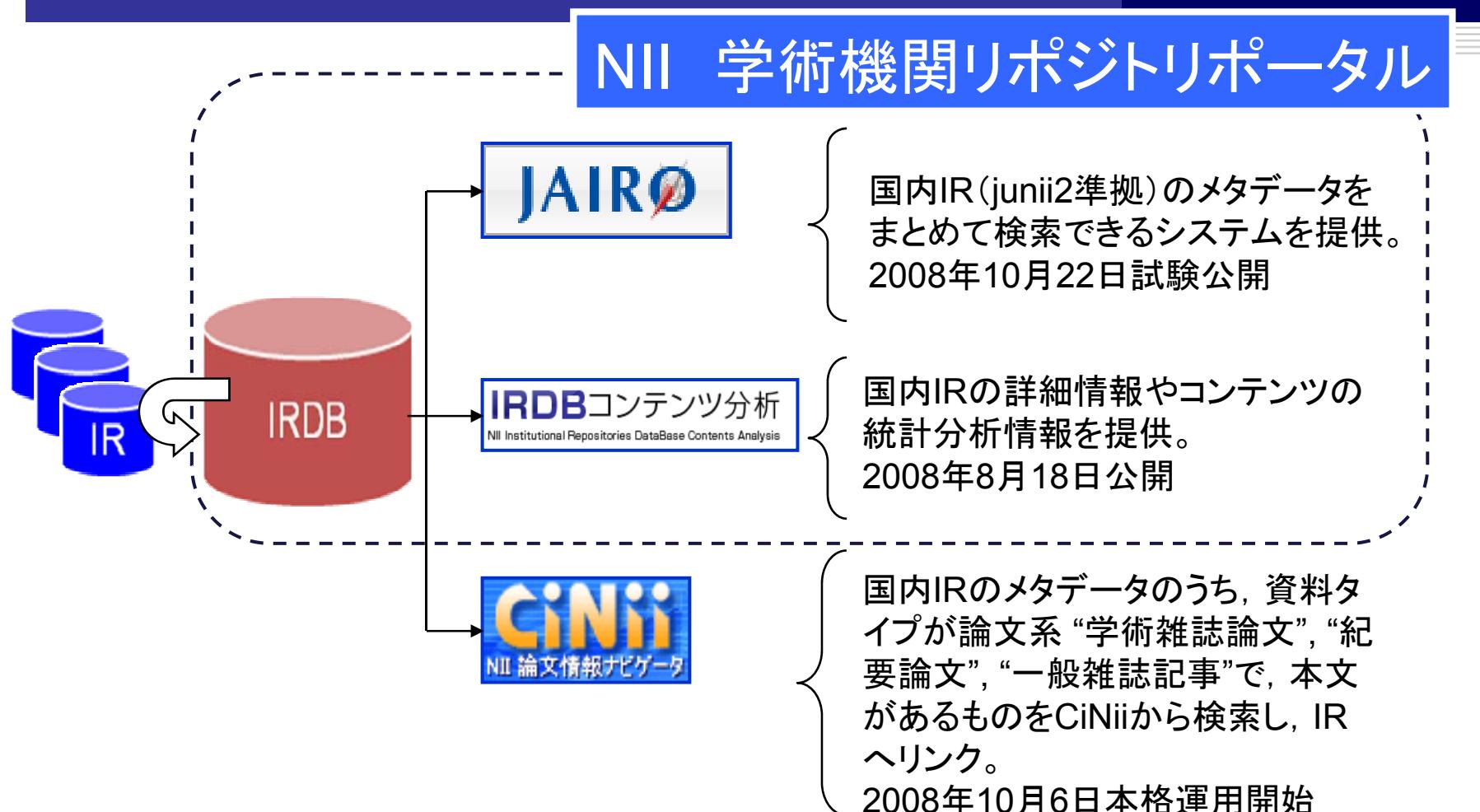
- 広島工業大学に実験サーバ設置(2006.12)
- オープンソースで導入し保守を業者委託
- 本番サーバは広島大学に設置(2007.3)
- 広島大学と別サーバにした理由
 - 物理的に困難
 - 大学ブランドの向上が学内合意のキー(だった)
 - 作業の分担が図れる(だろう)
 - スキルアップのもくろみ(広島大学側)

共同で運営するための工夫

大学ごとの個別化

- コミュニティごとにbaseUrlを作成
→ ハーベストの個別化
- コミュニティごとにスタイルシートを作成
→ デザインの個別化
- メタデータに大学名
→ カバーページに表示

ハーベスト → ポータル



コンテンツ数は少ないけれど



学術機関リポジトリポータルJAIRO <http://jairo.nii.ac.jp/>

は

- [浜松医科大学 \(357 件\)](#)
- [一橋大学 \(所蔵コレクション\) \(5,235 件\)](#)
- [弘前大学 \(939 件\)](#)
- [広島工業大学 \(76 件\)](#)
- [広島国際大学 \(29 件\)](#)
- [広島女学院大学 \(43 件\)](#)
- [広島文教女子大学 \(298 件\)](#)
- [福島大学 \(1,918 件\)](#)
- [北陸先端科学技術大学院大学 \(6,276 件\)](#)
- [北海道大学 \(25,859 件\)](#)
- [一橋大学 \(14,135 件\)](#)
- [兵庫教育大学 \(1,030 件\)](#)
- [広島経済大学 \(756 件\)](#)
- [広島国際学院大学 \(78 件\)](#)
- [広島市立大学 \(157 件\)](#)
- [広島大学 \(17,251 件\)](#)
- [福井大学 \(1,022 件\)](#)
- [法政大学 \(1,980 件\)](#)
- [北海道教育大学 \(782 件\)](#)

存在イコールステータス(今のところ)



IRDBコンテンツ分析 <http://irdb.nii.ac.jp/analysis/>

	総数	IR数	HARP
国立大学	87	59	
公立大学	89	2	2
私立大学	580	22	8
短大	434	0	
高専	64	0	
共同利用機関	19	0	



HARPIについて | 広島県大学図書館協議会

- ① HARP
- ② 参加大学一覧
- ③ ホーム

ブラウズ

- ④ タイトル
- ⑤ 著者
- ⑥ 資料タイプ
- ⑦ 日付
- ⑧ ヘルプ
- ⑨ 登録(管理者専用)
- ⑩ パスワード変更

HARP >

広島経済大学 = Hiroshima University of Economics

HUE 広島経済大学
Hiroshima University of Economics

最近登録されたアイテム

- 文章の拡充
- 教育的雰囲気
- 「失われた時を求めて」解釈への

デザイン



HARPIについて | 広島県大学図書館協議会

- ① HARP
- ② 参加大学一覧
- ③ ホーム

ブラウズ

- ④ タイトル
- ⑤ 著者
- ⑥ 資料タイプ
- ⑦ 日付
- ⑧ ヘルプ
- ⑨ 登録(管理者専用)
- ⑩ パスワード変更

広島女学院大学
HIROSHIMA JOGAKUIN UNIVERSITY

最近登録されたアイテム

- 英語教員養成における
Reflective Teaching—複雑授業に関する省察の質的分析—
- 小学生英語スピーチングテスト
開発に関する考察

HARP >

広島女学院大学 = Hiroshima Jogakuin University

検索対象: 広島女学院大学 = Hiroshima Jogakuin University



HARPIについて | 広島県大学図書館協議会

- ① HARP
- ② 参加大学一覧
- ③ ホーム

ブラウズ

- ④ タイトル
- ⑤ 著者
- ⑥ 資料タイプ
- ⑦ 日付

- ⑧ ヘルプ
- ⑨ 登録(管理者専用)
- ⑩ パスワード変更

日本赤十字広島看護大学
The Japanese Red Cross Hiroshima College of Nursing



HARP >

日本赤十字広島看護大学 = The Japanese Red Cross Hiroshima College of Nursing

検索対象: 日本赤十字広島看護大学 = The Japanese Red Cross Hiroshima College of Nursing

検索語
あるいは、ブラウズ

- 科学研究費補助金研究成果報告書 [3]
- 日本赤十字広島看護大学紀要 [100]

最近登録されたアイテム

- 看護系大学の統合カリキュラムにおける助産師教育の到達目標に関する検討

- 看護系大学の統合カリキュラムにおける助産師教育の到達目標に関する検討

- 学士課程の看護統合カリキュラムにおける助産師教育プログラム開発のための準備調査

- 【資料】糖尿病を持つ思春期の子供と病気管理:クリティカルレビュー

- 【原著】看護における"原理" "原則"の概念の使い方に関する問題 -基礎看護技術に焦点を当てて-

カバーページ

サーチエンジンからのアクセスにも大学名を明示

HARP : Hiroshima Associated Repository Portal



広島県大学共同リポジトリ

Hiroshima Associated Repository Portal

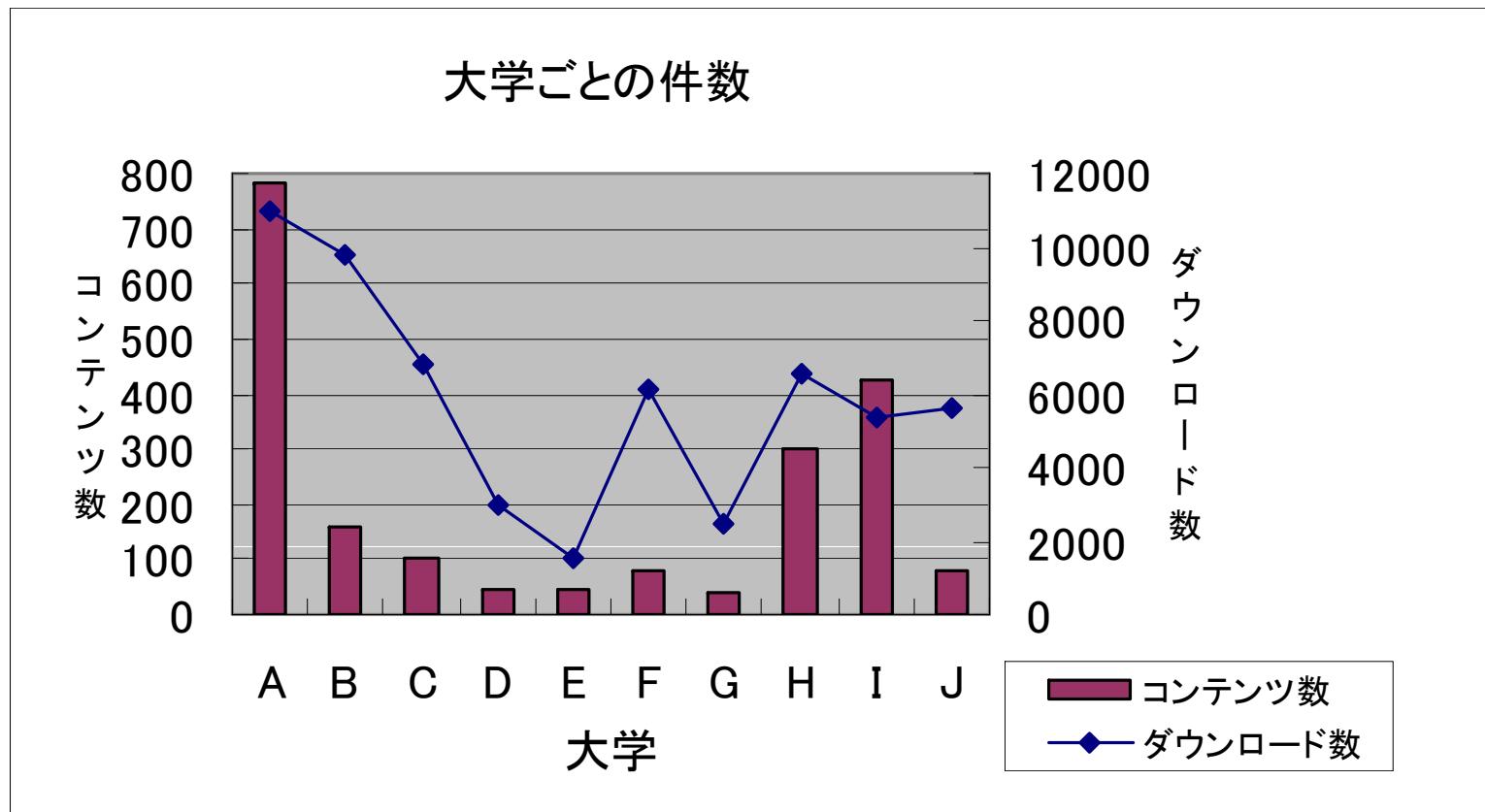


institution	広島工業大学 (Hiroshima Institute of Technology)
Title	ニアフィールドパターンで見るプラスティック光ファイバーの不均一性
Author(s)	伊吹, 健児; 斎藤, 千春; 石浦, 朋広; 本田, 幸生; 橋爪, 信郎
Citation	電気・情報関連学会中国支部連合大会講演論文集, 58: 52-52
URL	http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/handle/harp/483
Rights	

利用統計

2008年5月1日～2009年2月1日

ダウンロード総数 58,248件 コンテンツ総数 2,052件



例:看護系論文 提供率小・需要大

	検索結果	本文あり	割合
全体	5,921		
看護学	1,033	9	0.9%
歯学	401	24	6.0%
医学等	4,502	343	7.6%

医学中央雑誌Webを
キーワード「老人」対象年2008年で検索
(日本赤十字広島看護大学図書館調べ)

日本精神科看護学会誌

日本看護研究学会雑誌

日本看護科学会誌

日本がん看護学会誌

神奈川県立看護大学校看護研究集録

臨床老年看護

高知女子大看護学会誌

学校保健研究

平成17年度Nacsis-ILL複写依頼件
数の多かった和雑誌タイトルの一部

日本赤十字広島看護大学の ダウンロード数 6,785件 (10ヶ月)

260	保健行動の運動セルフ・エフィカシー項目の検討
224	メタボリックシンドローム防止と食習慣・運動習慣
151	第29回国際ヒューマンケアリング学会:シンポジウムでの発表を終えて— ヒューマンケアリング理論:教育・研究・実践への応用—
149	老人保健施設における入所者の貧血の検討
149	看護組織における組織文化の測定尺度の妥当性の検証—フィールド調査結果との比較から—
145	児童虐待防止における保健師の役割—H県内の保健所及び保健センターにおける実践例
143	看護実践から見出した問題点
139	脳性まひを持つ子ども
121	看護における"原理" "原則" "基準" "規範" "規則" "規制" "規制
116	第8回アジア太平洋タバコ対策会議(APTC)で発表された論文

活用されていることを
実感する

必要経費

- 初期導入経費(サーバ・システム設定)
→CSI事業費
- ランニングコスト(コンテンツ収集)
→各自(20-21年度はCSI事業費)
- 保守委託費・サーバ更新積立金
→分担※
 - ※11大学以上の参加で年額30千円程度

県大図協の事業として

- 正式事業としての承認
全加盟館強制ではなく任意参加としての事業
(分担金が発生するため)
- 委員会の設置
- 補助金の支出
余剰金がない、全加盟館からの会費を使うことへの是非
、参加館の数も未確定、運営も不確定なことから議論あり

広島県大学図書館協議会



各大学の研究成果を公開

A
大学

B
大学

C
大学

D
大学

機関内での広報、コンテンツ収集、コンテンツ登録

HARP勉強会

(HARP参加館担当者 + 有志で構成)

グループウェア、メーリングリスト、ワークショップ

共同リポジトリ委員会
広島経済大学を始め
6大学で構成

協議、運営計画等

事務局(広島大学)
・庶務・連絡調整

システム班
・サーバ管理

普及班
・普及・広報
・勉強会の主催
・サポート活動

広島大学の立ち位置

- HARP参加館にあらず
→コンテンツ登録なし・分担金支出なし
- 共同リポジトリ委員館・事務局として関わる
→会費の管理・システム関連の連絡
→勉強会を中心としたサポート
- 広島大学のメリットとは
→地域社会貢献事業
→相互連携
→スキルアップ

ホンネ
国立大学は異動多いし...

意識形成 -勉強会-

日時・会場	内容	参加者
06.10 広島大	(講義)「機関リポジトリ概要」「リポジトリシステムの現状」「広島大学学術情報リポジトリ」「コンテンツと著作権」	8大学 11名
07.1 広島経済大	「コンテンツ収集方法について」(講義) DSpace登録実習	9大学 13名
07.6 広島経済大	コンテンツ収集プラン策定 XooNips登録実習	9大学 15名
07.12 広島経済大	「コンテンツ収集のためのアプローチ」(講義) カスタマイズ協議、登録実習	13大学 17名
08.4 広島経済大	公開直前登録実習、進捗段階別講義	15大学 25名
08.7 広島経済大	CSI委託事業作業打ち合わせ、コレクション作成実習	12大学 19名
08.10 広島経済大	CSI委託事業作業打ち合わせ、「最新動向」(講義)	11大学 18名

参加大学の意識変化(広島市立大学)

2006.6 事前アンケート	「リポジトリって何？」 どこか遠くの話 に聞こえた。 勉強会なら参加できそう。乗り遅れたくない。
2006.10 第1回勉強会	IRの概要について理解できたような気はするけれど... うちの図書館にはまだ早い。他にできることいっぱいあるし... でもこの勉強会には参加し続けよう。
2007.1 第2回勉強会	広島工業大がサーバを構築したことに感動。 プロジェクトが本当に進行し始め・現実のものと捉えられる ようになる。(でも本当にコンテンツ収集できるかな?)
2007.6 第3回勉強会	自学のプランを現実的に考えられるようになる。 運営体制・資金の不安も明確に意識 できるようになる。
2007.7 委員会発足	自分たちが事業を動かす番 になったことを知った。
2007.12 第4回勉強会	運用がより現実的になる。運用の諸課題で意見が分かれ た時、 共同の難しさを少し感じた。
2008.4 第5回勉強会	登録上の細々とした迷いを相談できること、情報交換できること が本当に ありがたい。連携を維持していきたい。

実現の要因

- 県大図協の正式事業
- 先行大学のサポート(広島大)
- 役割分担
 - 普及(広島経済大)・システム(広島工業大)
広報(広島市立大・広島女学院大)ほか
- CSI事業費による準備
- 参加大学の前向きな姿勢

HARPへの懸念・不安 (アンケートからうかがえる変化)

2007.6(公開前)	2008.5(公開後)
<ul style="list-style-type: none">・コンテンツの収集(3)・運営体制の確立(2)・人員の確保(2)・参加館間の温度差(2)・共同運用の労力(1)・ランニングコストの確保(1)・知識のなさ(1)・組織の維持(1)	<ul style="list-style-type: none">・広島大学のサポートの存続(8)・発展的解消後の自立(6)・自学の自立との関係(3)・コンテンツの収集(2)・人員の確保(1)・参加館間の温度差(1)

カッコ内回答数

県大図協間の温度差

- ・業務のプライオリティ
- ・研究大学と教育大学の違い
- ・紀要発行団体との関係
- ・分担金より作業の手間

課題

- ・マンパワーの問題
- ・参加館間の格差
- ・HARPの中で大学ブランドを
出していけるのか、どの程度認めるのか
- ・県大図協HARP非参加館へもメリットのある
ものになるのか
- ・参加館が独立した場合、その後をどう考える
か

HARPに期待すること (アンケートからうかがえる変化)

2007.6(公開前)	2008.5(公開後)
<ul style="list-style-type: none">•学内成果の電子公開(3)•HARPを通じた連携強化(3)•コンテンツの充実(2)•参加館の拡大(1)	<ul style="list-style-type: none">•HARPを通じた連携強化(8)•参加館の拡大(6)•ノウハウの共有(3)•学内成果の電子公開(2)•安定的な運営(1)•汎用性の高いモデル構築(1)•自学IRの独立支援(1)

カッコ内回答数

結局のところ、共同リポジトリHARPは…
共通の新しい課題に取り組み、
定期的に顔の見える勉強会を持つことで、
県内大学間の協力関係を強化させるプロジェクト
…になっている

立ち上げ時のスローガン：
費用と労力をシェアして機関リポジトリの構築を

課題もシェアし、一緒に解決

もう一度、共同構築の意義

- ・ 経費・技術・ノウハウの共有
- ・ リポジトリ構築の障壁除去

→**オープンアクセスの拡大**

- ・ 連携の強化
- ・ サブジェクトポータル構築

→**地域活性化・社会貢献**

まとめ

- 機関リポジトリ
 - オープンアクセスによる学術成果の普及
- 共同リポジトリ
 - 中小規模機関へのオープンアクセスの拡大
- **地域の共同リポジトリ**
 - 地域の学術のショウケース化と、
顔の見える距離での連携強化

沖縄地域学リポジトリに期待しています

参考

- ・ 森保信吾, 尾崎文代. “共同リポジトリの試みー広島県大学共同リポジトリ(HARP)ー”大学図書館研究 vol.82 (2008)
- ・ 中村三春. “大学コンソーシアムやまがたの活動とゆうキャンパスリポジトリ” 情報管理 vol.51 no.1 (2008)
http://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/51/1/51_55/_article/-char/ja
- ・ Moyle, M. and Stockley, R. and Tonkin, S. “ **SHERPA-LEAP**: a consortial model for the creation and support of academic institutional repositories.” OCLC Systems and Services vol.23no.2 (2007) <http://eprints.ucl.ac.uk/2663/1/oclc.pdf>
- ・ **DRF/ShaRe-Hiroshima**
<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?DRF%2FShaRe-Hiroshima>
共同リポジトリ構築事例報告(埼玉・岡山・山口・長崎・広島・山形)ほか